



建物の移築と萩外荘

竹中工務店 設計本部
アドバンストデザイン部
伝統建築グループ 山野敬史

令和3年12月1日

岩波の子どもの本

ちいさいおうち



バージニア・リー・バートンが制作した絵本『ちいさいおうち』（1942年）。日本語訳は杉並区名誉区民の石井桃子。大田黒公園の北側に、石井が地域の子供たちに本を読める環境をつくるために始めた、かつら文庫がある。

お伝えしたいこと

- ・ 建物を移築するという行為は古くより行われている普遍的なものである
- ・ 移築は日本における木造建築の特質の一つである

主要参考文献：藤井恵介「移築研究の目的と意味」日本建築学会大会学術梗概集、2001年9月

0_荻外荘の概要と歴史的変遷

1_移築とは何か

2_移築の方法

3_移築の年代と遺構

4_移築の可能性と社会的意義



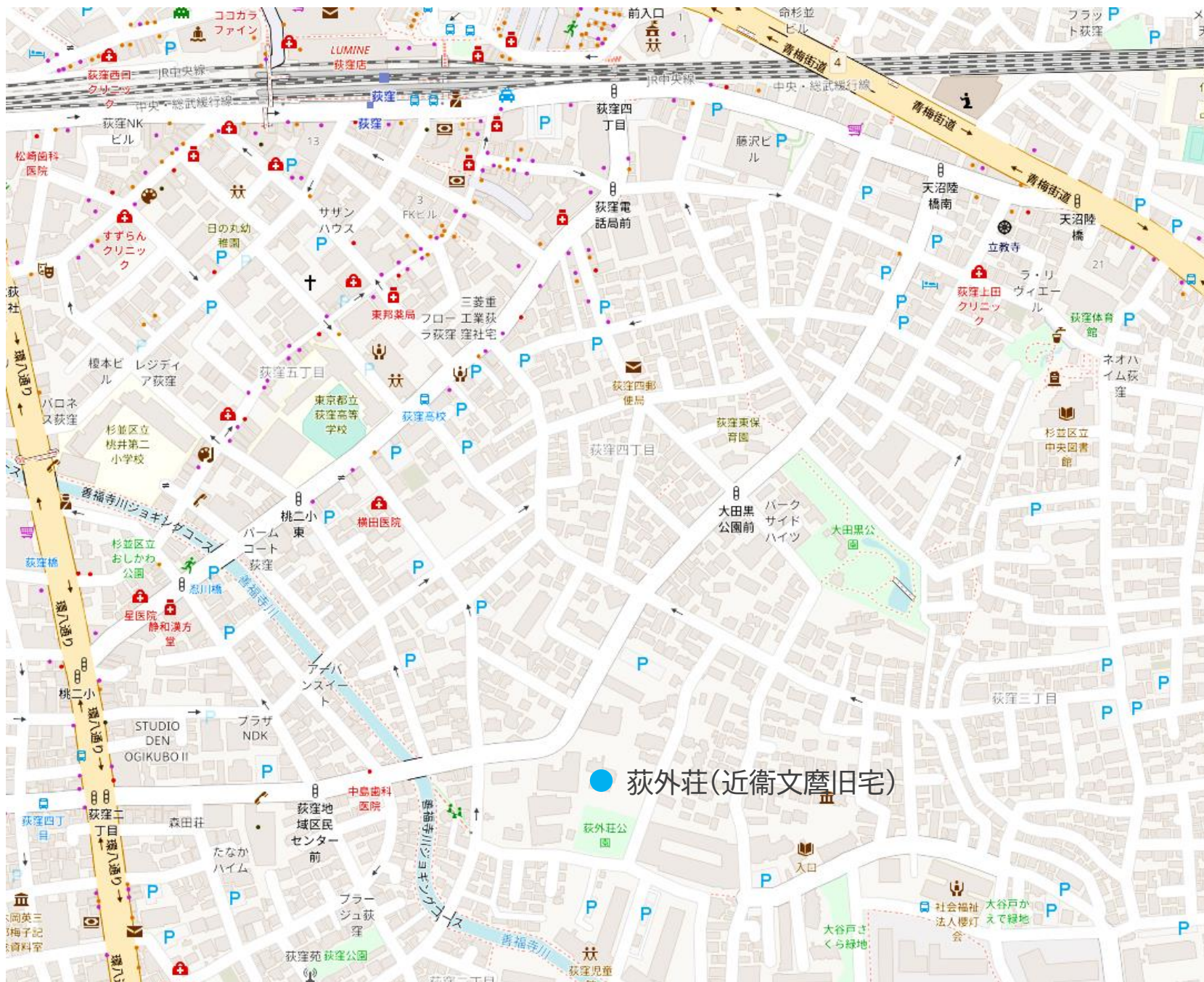


0_荻外荘の概要と歴史の変遷

- ・ 立地
- ・ 建築概要
- ・ 歴史の変遷
- ・ 伊東忠太設計住宅リスト
- ・ 荻外荘建設に至る背景



荻外荘の立地

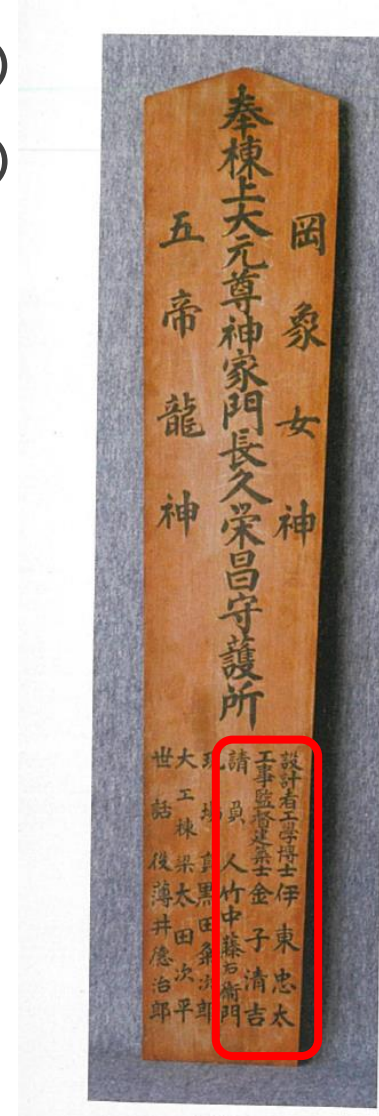


荻外荘の立地



荻外荘の概要

- 建物名称 : 荻外荘 (創建時の名称は「楓荻荘」「楓荻凹処」)
- 居住者 : 入澤家 (入澤達吉) 昭和2年(1927)～昭和12年(1937)
近衛家 昭和12年(1937)～平成25年(2013)
※近衛文麿が住んだ期間は昭和12年～昭和20年
- 設計者 : 伊東忠太
- 改修設計者(書斎) : 長谷部鋭吉
- 施工者 : 竹中藤右衛門 (竹中工務店)
- 別棟施工者 : 藤木工務店
- 建築年 : 玄関棟、客間棟、居住棟 →昭和2年 (1927)
別棟 →昭和13年 (1938)
- 構造 : 木造
- 建築面積 : 主屋/倉庫/別棟 386.80m²(111.56坪)
玄関棟/客間 215.66m²(62.25坪)
- 文化財区分 : 平成28年 (2016) 史跡指定



岡象女神
五帝龍神

奉棟上大元尊神家門長久栄昌守護所

設計者 工學博士 伊東忠太
工事監督建築士 金子清吉
請負人 竹中藤右衛門

現場員 黒田象次郎
大工棟梁 太田次平
現役 薄井徳治郎
世話 役 薄井徳治郎

現存する棟札

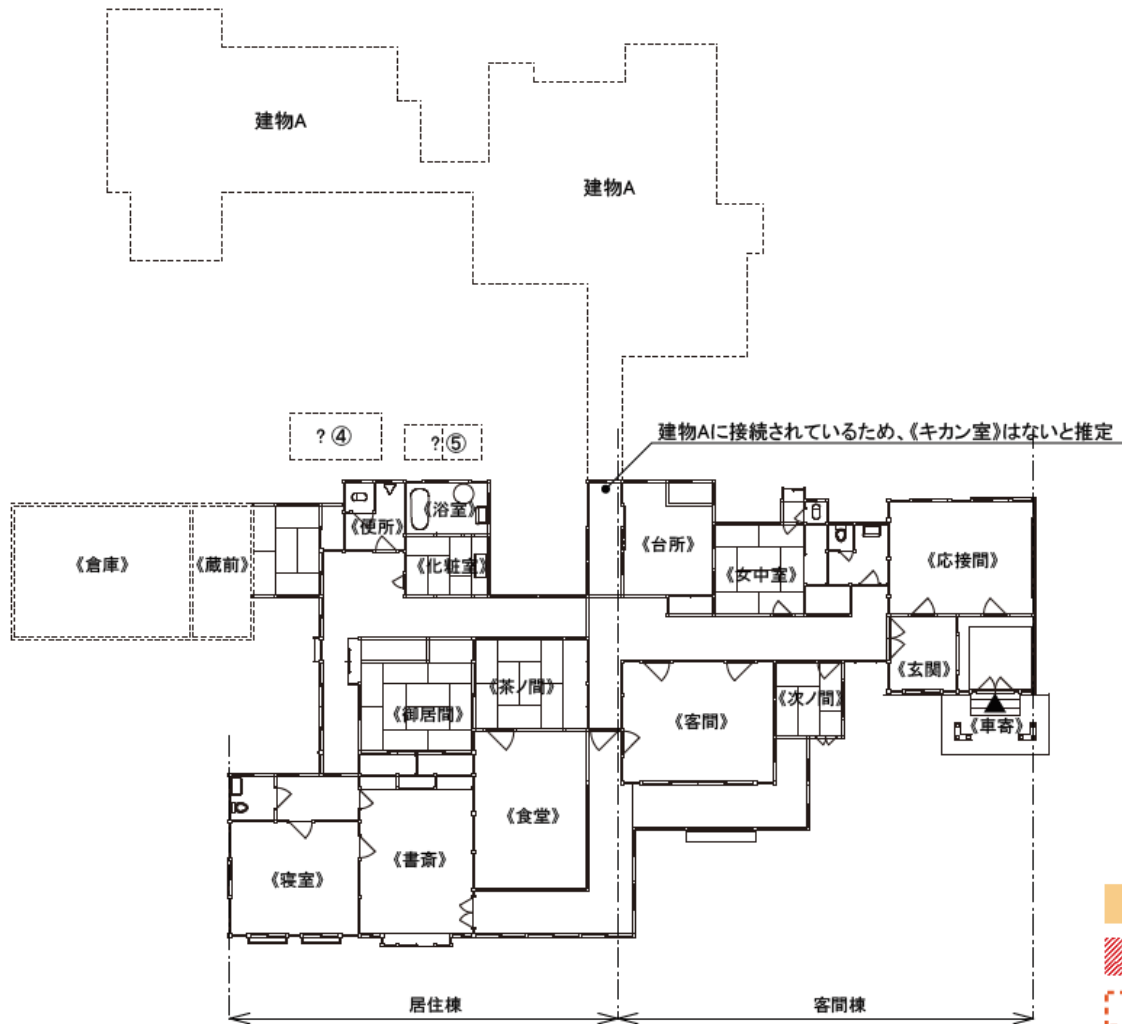
『文化財シリーズ46 国指定史跡荻外荘 (近衛文麿旧宅)』 P.26

荻外荘の歴史的変遷

居住者	期間	和暦	西暦	建物の履歴
入澤家	第Ⅰ期	昭和2年～5年	1927～30	創建。建物は昭和2年に上棟、竣工。
	第Ⅱ期	昭和5年～12年	1930～37	北側附属屋を改変。台所を増築。昭和12年近衛家に譲渡。
近衛文麿	第Ⅲ期	昭和12年～16年	1937～41	西側別棟と蔵、次の間を増築。（「荻外荘」と命名。）
				正門を西側に移築。
	第Ⅳ期	昭和16年～20年	1941～45	昭和18年頃に書斎・寝室・玄関等の改修。
近衛家	第Ⅳ期	昭和20年～35年	1945～60	
	第Ⅴ期	昭和35年～45年	1960～70	玄関・客間棟を豊島区に移築。北側に玄関を増築。
				西側別棟にも玄関を増築。
第Ⅵ期	昭和45年～	1970～	近衛家による荻外荘の改修	

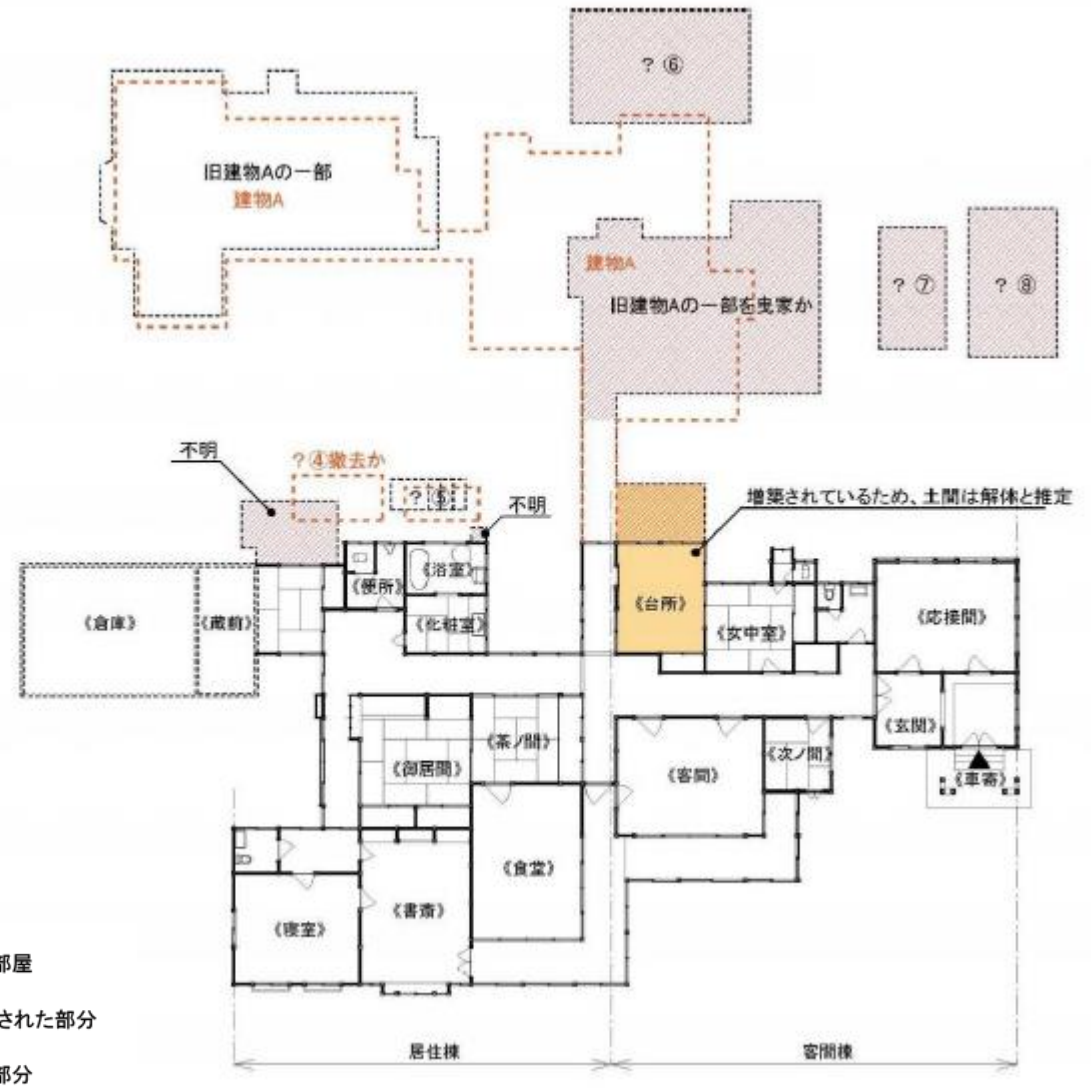
■ 第Ⅰ期1927-1930

昭和2年に上棟、竣工



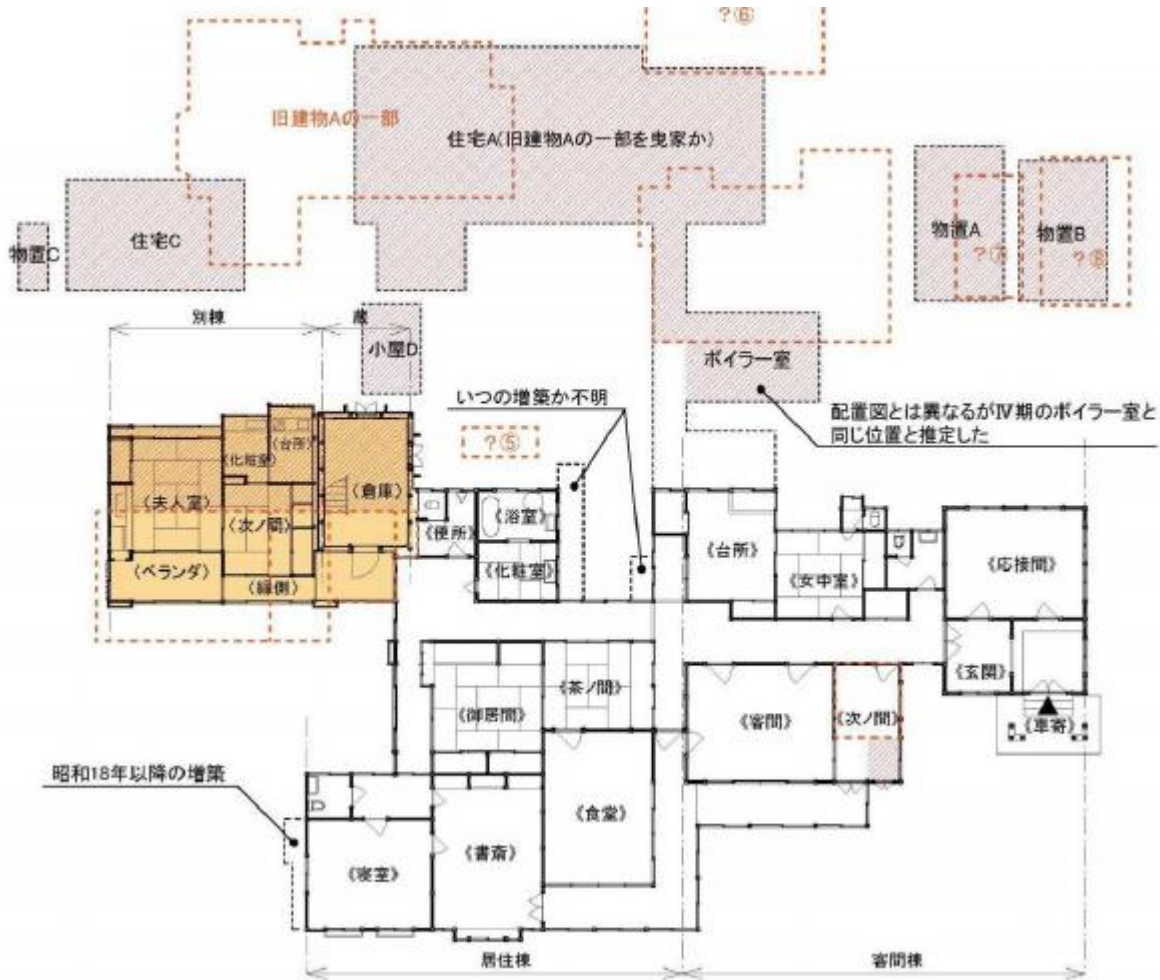
■ 第Ⅱ期1930-1937

北側附属屋改変・台所増築



■ 第Ⅲ期1937-1941

近衛文麿が荻外荘を購入
西側別棟、次の間の増築



■ 第Ⅳ期1943-1960

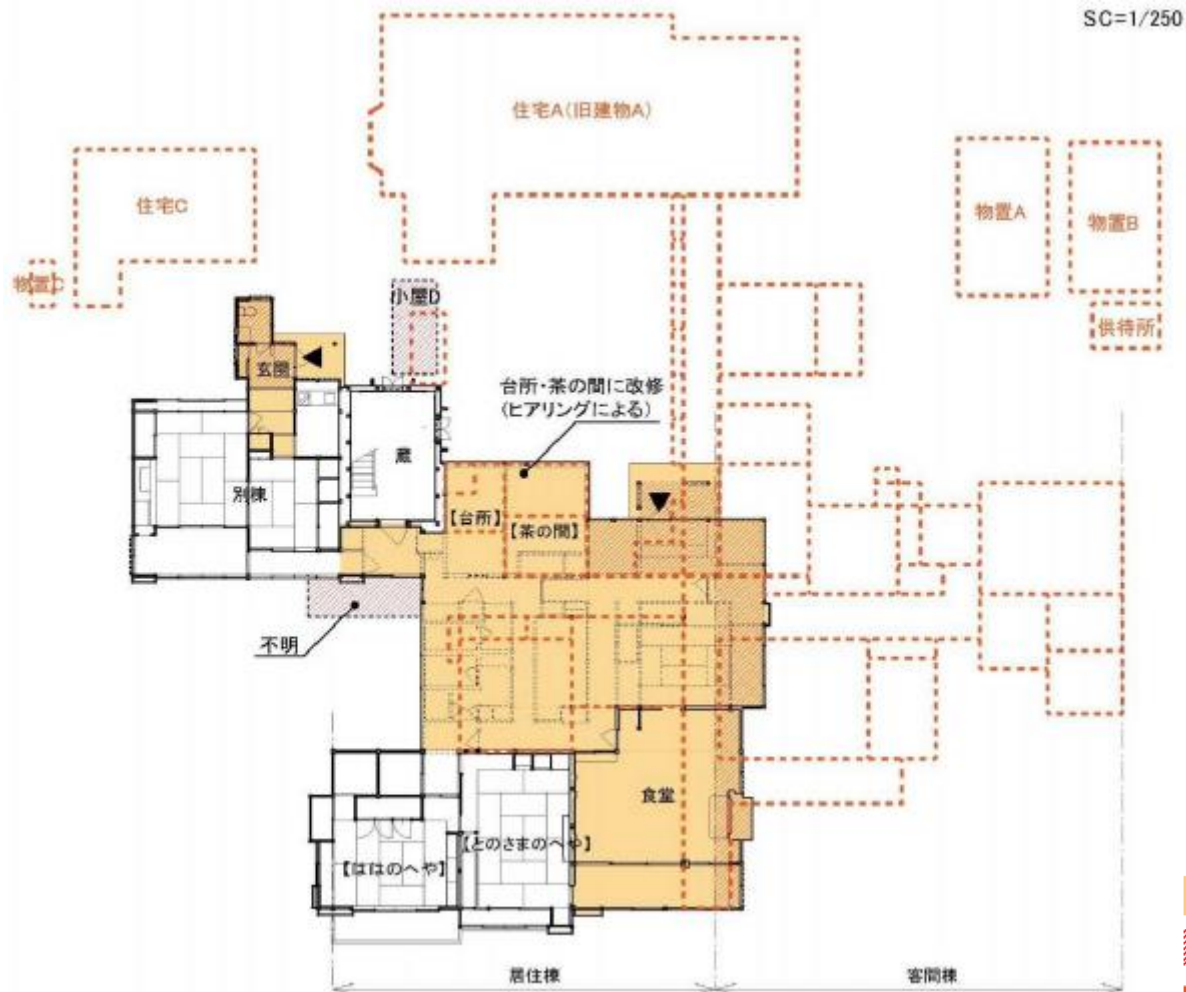
書斎・寝室を和室に改修
玄関の位置変更



※ (仮称) 荻外荘公園整備基本計画に掲載された図版を加工

■ 第Ⅴ期1960-1970

客間棟を豊島区へ移築



■ 第Ⅵ期1970-現在

※竹中工務店にて解体
再利用材は保管済

近衛家による内装改修
台所・和室の改修
サンルームの設置



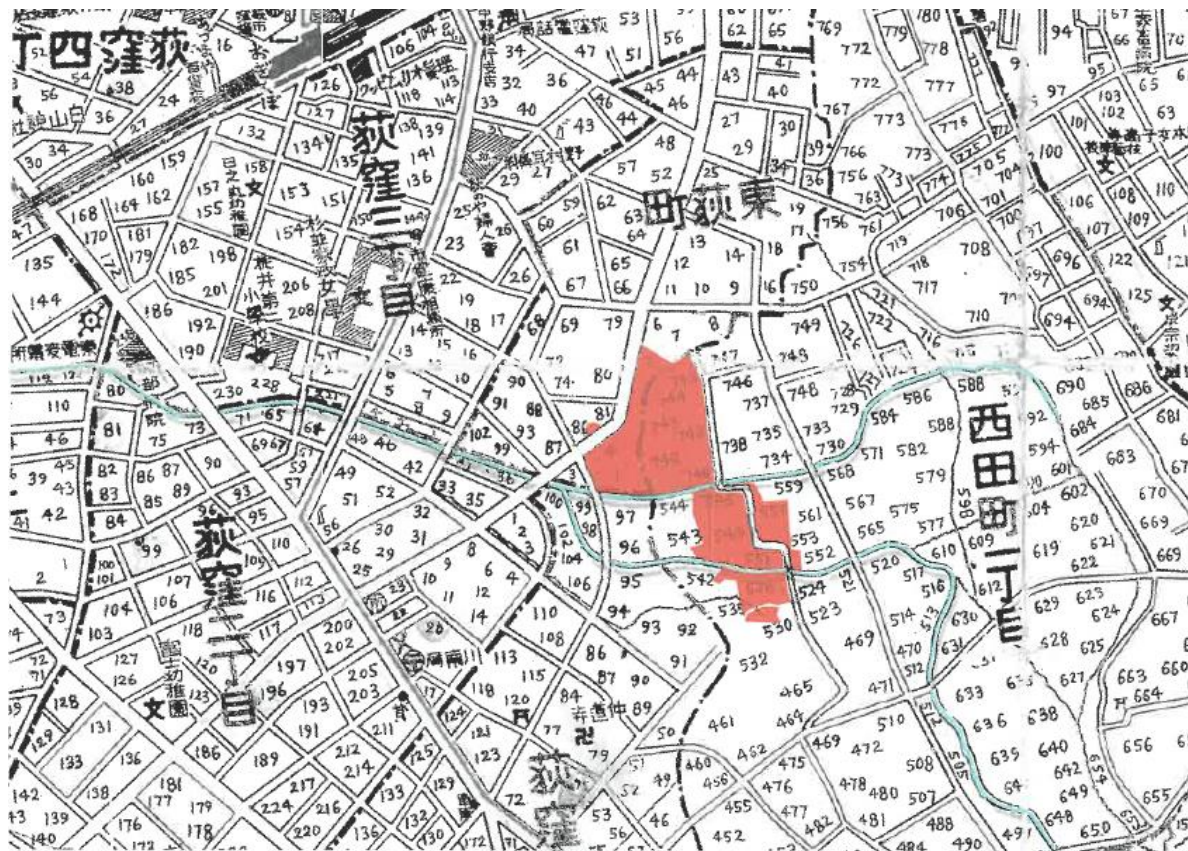
※ (仮称) 荻外荘公園整備基本計画に掲載された図版を加工

伊東忠太設計住宅リスト

伊東忠太が設計に関与した住宅で、現存するものは4棟ある（ただし正式な作品集に掲載されたものとしては2棟）。また伊東は入澤達吉のために住宅2棟を設計・監督し、1棟に参画している。

	竣工年	(西暦)	作品名	設計関与	所在地	結果	主要関係者	現存有無
1	明治42年	1909	浅野総一郎邸	設計・監督	東京市	実施	主任：佐々木岩次郎	
2	明治42年	1909	山縣有朋別荘（古希庵）	設計	栃木県矢板市	実施		現存。ただし移築。
3	明治43年	1910	二楽荘	設計	神戸市六甲山	実施	主任：鶴飼長三郎	
4	明治44年	1911	入澤達吉邸	設計・監督	東京市本郷区	実施	主任：佐々木岩次郎	
5	大正4年	1915	内務大臣等官邸	設計・監督	東京市	実施	主任：佐野利器	
6	大正8年	1919	大倉喜八郎小田原別邸	図案原案廃棄、別案に就き顧問	神奈川県小田原町	実施		
7	大正9年	1920	久米民之助箱根別邸門	設計・監督	神奈川県箱根強羅	実施		
8	大正10年	1921	三井養之助庭内亭子	設計	東京市	延期		
9	大正13年	1924	暹羅王宮内宮室及び庭園	設計	バンコク	中止	主任：佐々木岩次郎	
10	大正14年	1925	入澤達吉葉山別邸	一部参画	神奈川県葉山町	実施		
11	大正14年	1925	久米民之助箱根別邸門	考案	神奈川県箱根強羅	中止		
12	大正14年	1925	蒲田梅屋敷旧跡保存計画	設計	東京市	一部実施		
13	昭和2年	1927	大倉喜八郎京都別邸	設計・顧問	京都市	実施		現存。
14	昭和2年	1927	入澤達吉邸荻外荘	設計・監督	東京市	実施	主任：金子清吉	現存。一部移築。
15	昭和3年	1928	大原孫三郎邸（有隣荘）	設計指導	岡山県倉敷市	実施	設計：薬師寺主計	現存。
16	昭和9-10年	1934-35	白石元治郎熱海別邸	設計・監督	静岡県熱海市	実施		

荻外荘建設に至る背景_①なぜこの土地を入澤達吉は選んだのか？



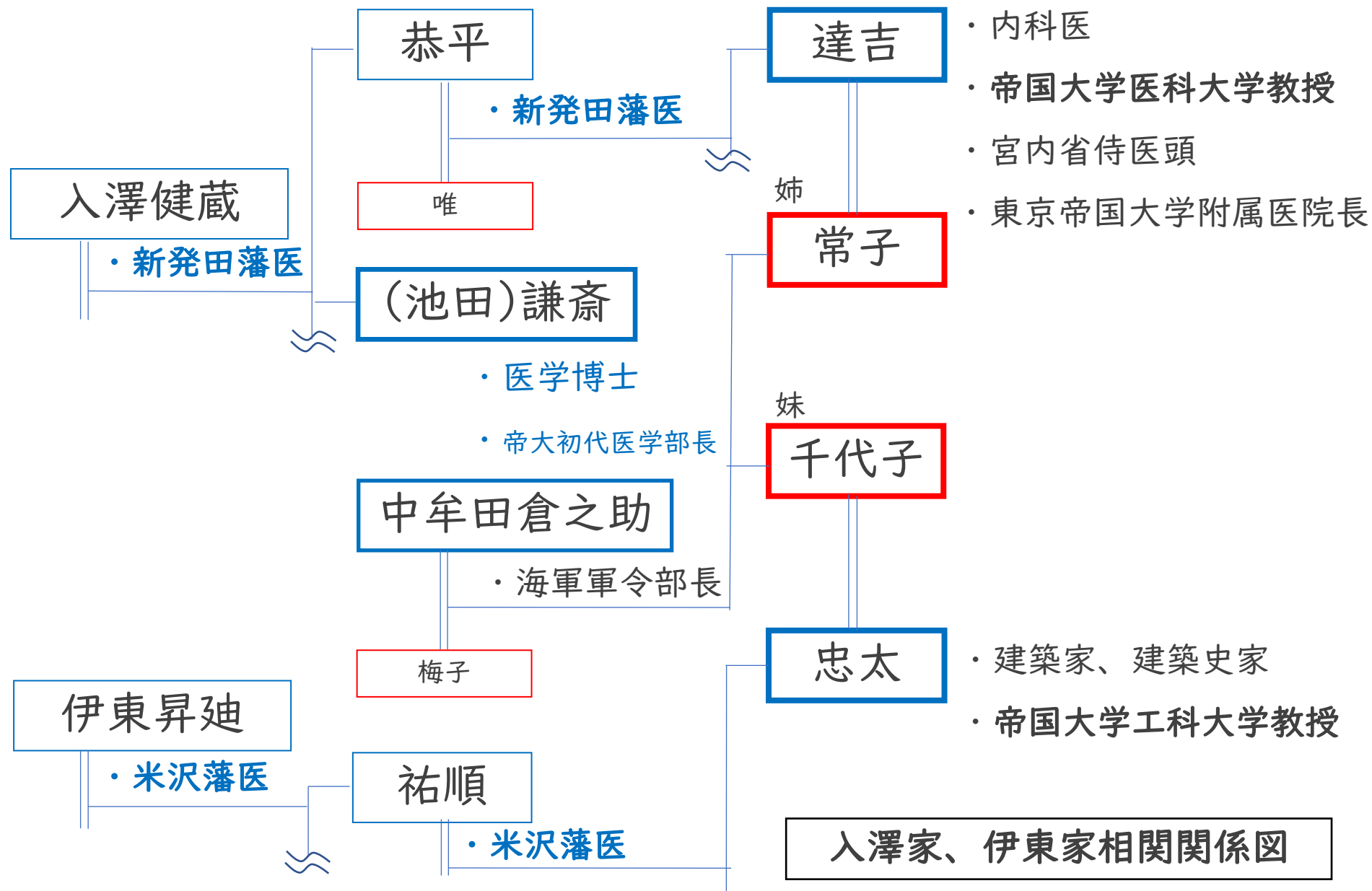
- ・ 中島力造(1858-1918)による紹介
- ・ 敷地を気に入っていた
- ・ 客人をもてなすため
- ・ 国木田独歩「武蔵野」ブーム (1898)
- ・ 公衆衛生学による住環境改良 (森鷗外等)



中島力造

図 1万2千分1「最新杉並区明細地図」昭和12年7月に加筆

荻外荘建設に至る背景_②なぜ設計が伊東忠太なのか？



荻外荘建設に至る背景_③なぜ施工が竹中藤右衛門（竹中工務店）なのか？



西本願寺伝道院/旧真宗信徒生命株式会社社屋

明治45年（1912）竣工

設計：伊東忠太 施工：竹中工務店



一橋大学兼松講堂

昭和2年（1927）竣工

設計：伊東忠太 施工：竹中工務店

管見の限り、その答えになるような史料は見つかっていない。竹中工務店が伊東忠太の設計で最初に施工した建物は西本願寺伝道院で、「荻外荘」の建設と同時期に一橋大学兼松講堂を施工している。